

<No24 : 地図編集>

次の a～e の文は、GIS で扱うデータ形式や GIS の機能について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. GIS でよく利用されるデータにはベクタデータとラスタデータがあり、ベクタデータのファイル形式としては、GML, KML, TIFF などがある。
- b. 居住地区の明治期の地図に位置情報を付与できれば、GIS を用いてその位置精度に応じた縮尺の現在の地図と重ね合わせて表示できる。
- c. 国土地理院の基盤地図情報ダウンロードページから入手した水涯線データに対して、GIS を用いて標高別に色分けすることにより、浸水が想定される範囲の確認が可能な地図を作成できる。
- d. 数値標高モデル (DEM) から、斜度が一定の角度以上となる範囲を抽出し、その範囲を任意の色で着色することにより、雪崩危険箇所を表示することができる。
- e. 地震発生前と地震発生後の数値表層モデル (DSM) を比較することによって、倒壊建物がどの程度発生したのかを推定し、被災状況を概観する地図を作成することが可能である。

- 1. a, b
- 2. a, c
- 3. b, d
- 4. c, e
- 5. d, e